

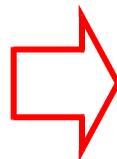
なないせいふ き 圃場整備事業 七井西部 I 期地区（平成 19 年 3 月完成）

1. 事業概要

本地区は、益子町の北部に位置し、一級河川小貝川並びに一級河川小宅川沿いに展開する平坦な水田地帯で、水稻を中心とした農業が営まれてきた。

本事業は、七井西部 I 期地区の農地 81ha について、圃場整備を行うものである。

事業名	県営圃場整備事業		
事業主体	栃木県		
事業箇所	芳賀郡益子町大字七井、小宅		
受益面積	81ha		
受益者数	187人		
整備内容	整地工 81ha	用水路工 11.8km	排水路工 11.0km
	暗渠排水工 69.0ha	道路工 8.4km	
総事業費	10.2億円		
事業期間	平成13年度～平成18年度		



2. 事業の目的・必要性

本地区の農地は区画が狭く不整形であるとともに、道路は狭小で屈曲しており用排水路が土水路であったため、効率的な営農が困難な状況にあり、基盤整備は重要な課題となっていた。

このため、栃木県では圃場整備事業により、農地の大区画化を行い大型機械の導入を図るとともに、排水条件の改善による「農地の高度利用」や「営農の効率化」、「農地利用集積の推進」を図ることを目的に、平成13年度から圃場整備工事に着手し、平成18年度に事業完了した。

3. 事業の整備効果等

(1) 事業費等の変化

項目	事業採択時	事業完成時	増減
受益面積	84ha	81ha	△3ha
総事業費	10.7億円	10.2億円	△0.5億円
工期	H13~H17	H13~H18	

受益面積については、本事業以前に個人で大区画化をしており、新たな整備に対する意欲が薄いこと等により、3haの減となった。事業費についても、受益面積の減に伴い0.5億円減となった。

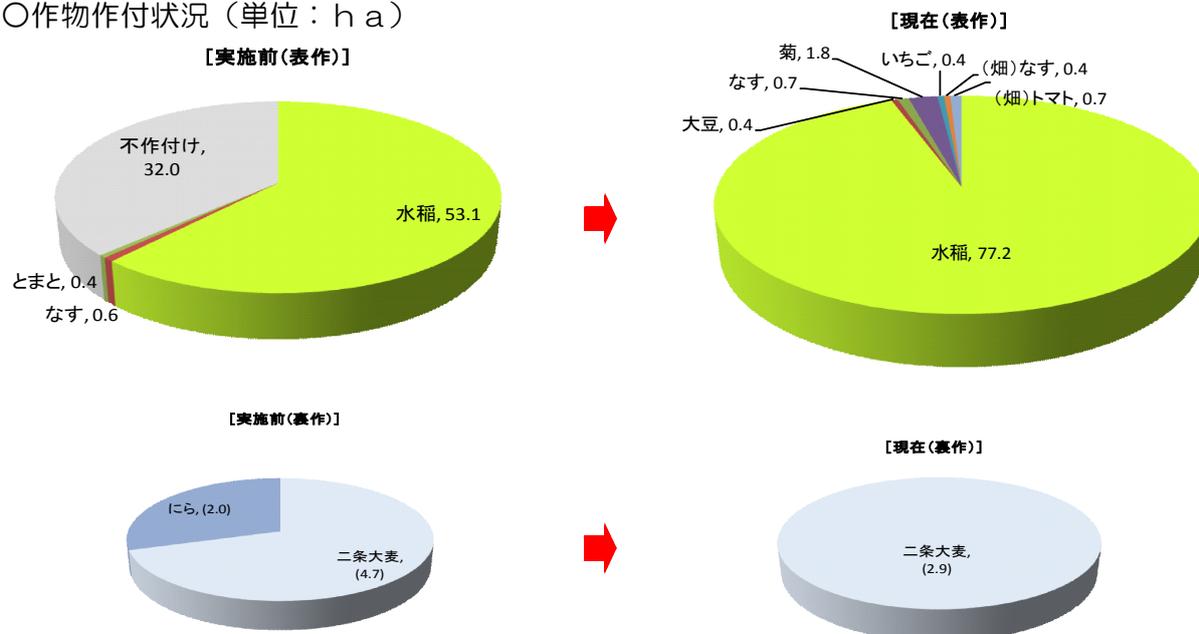
(2) 農地の高度利用

◆農作物の作付け状況

事業実施前はほぼ水稲単作の状況であったが、圃場整備により汎用化が図られ、転作作物として大豆、またはいちごが作付されるようになった。また、花き(菊)が新規作物として生産されている。

○耕地利用率 [実施前] 68% ⇨ [現在] 105%

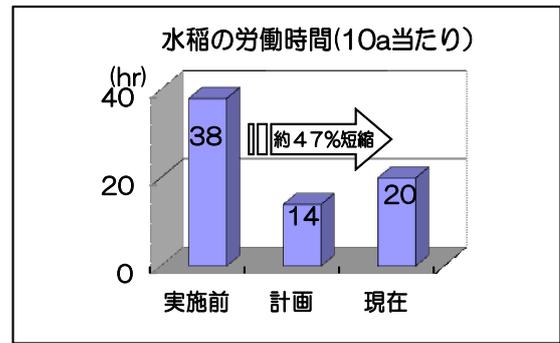
○作物作付状況(単位:ha)



(3) 営農の効率化

① 農作業に係る労働時間の短縮

農地の大区画化や農道の整備により大型農業機械の導入が促進され、労働時間が約47%短縮し、営農効率が向上している。

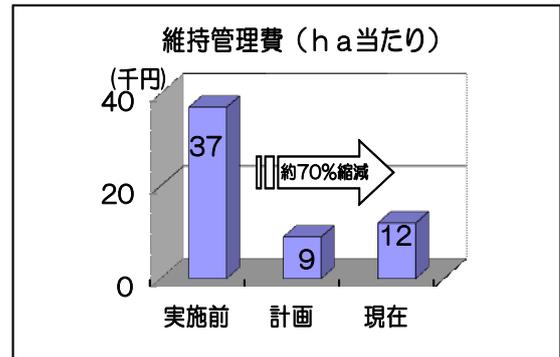


(担い手農家聞き取り)

② 維持管理の軽減

用排水、道路の改良整備により、改良区が負担している維持管理費が約70%節減されており、負担軽減になっている。

維持管理費：37千円/ha/年間（実施前）
↓
12千円/ha/年間（現在）



(益子町土地改良区聞き取り)

(4) 農地利用集積の推進

事業を契機として農地の大区画化や大型機械の導入が可能となり、効率的な農業経営が可能となったことから、担い手農家への農地集積も進み、経営基盤の強化が図られている。

	[整備前]		[現在]
地区内経営面積 (ha)	4 ha	⇒	33 ha
地区内の内集積率 (%)	5 %		41 %

4. 事業により整備された施設の管理状況

用排水施設は益子町土地改良区が管理者であり、組合員が必要に応じて、堀ざらいや草刈り等の作業を行っている。農道は、管理者である益子町が適切な維持管理をしているが、草刈り等の日常の維持管理は改良区組合員が行っている。



5. 事業実施による環境の変化

圃場整備で造った農道を舗装したことで、農家が営農目的に利用するだけでなく、非農家も通勤・通学などに利用するようになり、利便性・安全性が向上した。

6. 社会経済情勢の変化

特になし

7. 今後の課題等

- ① 事業実施によりい手への農地の利用集積が大きく進んだ一方、多様な農作物導入と定着化はこれからであることから、営農指導等の支援を図る必要がある。
- ② 未舗装農道の保全要望について、道路管理者と共に検討する必要がある。

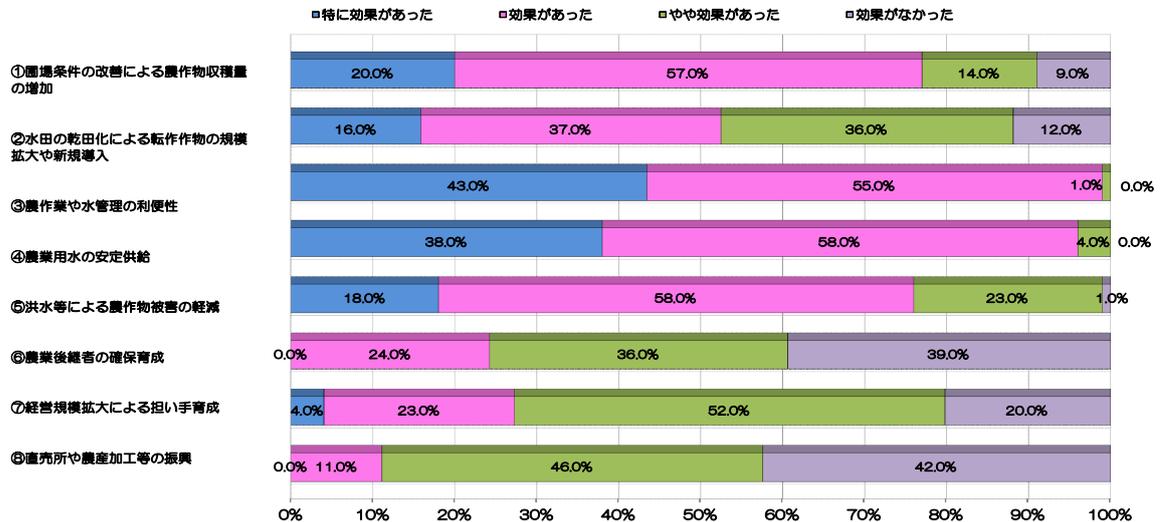
◆【参考：アンケート調査結果について】

本地区内の農家、非農家を対象に事業実施に対する効果の発現状況について調査を行った。
 (配布戸数 119戸 回答100戸 回答率84% H24.6.5回収)

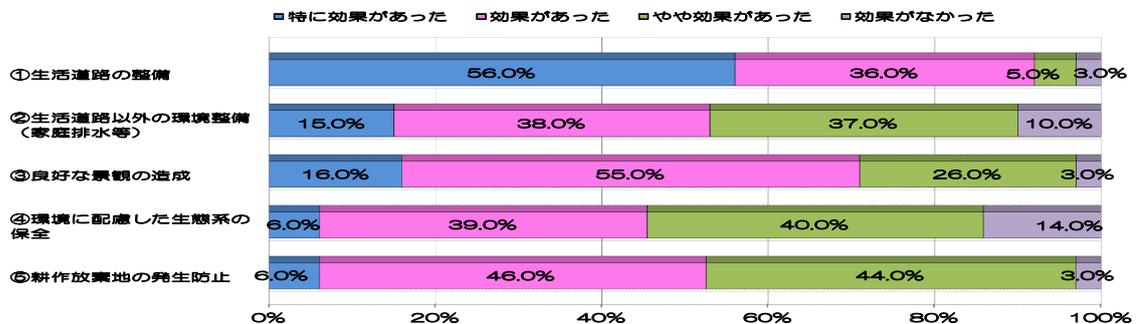
[アンケート結果での地域住民の事業に対する評価]

農家からは特に農作業や水管理の利便性、農業用水の安定確保、洪水防止に対して高評価を得ている。また、生活環境全般について高評価を得ている。

①農家を対象としたアンケート結果



②農家・非農家を対象としたアンケート結果



③主な意見

【農家】

- 農道の幅が広がったので良い。
- 田んぼがバラバラだったのが集団化されたので良かった。
- 作業がしやすくなった。
- 排水路が深いので危険。それに対する安全の配慮に欠けている。

【非農家】

- 生活道路整備の結果、通行車両が増加した。未整備道路のわだちの損傷が激しいので、改善を希望する。

栃木県 農政部 農地整備課

TEL : 028-623-2364 FAX : 028-623-2378

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/system/honchou/honchou/1182500312842.html>

E-mail : nochi-seibi@pref.tochigi.lg.jp

